

2016年神奈川県公立高校入試

# 学力検査・受験生の声

## 高校受験 STEP

# ステップ中3生、学力検査に挑戦！

みんなの感触は…  
理科は難度DOWN／英語・数学は難度UPか？

ドキュメント 2016.2.16 ☆学力検査にチャレンジしたステップ生の感想を集めました。

9:20  
◎英語◎

- ◆英語が始まるまではずっと緊張していたけど、家族や友達からのメッセージを読んだら、気持ちが落ち着いてきた。
- ◆リスニングが速すぎてアラビア語に聞こえた。あれを聞き取れた人は聖徳太子並みだと思う。「速い」+「緊張」=聞き取れない！
- ◆1時間目から難しいのはズルイ。泣きそうになった。
- ◆リスニングが聞こえないとか「ありえないだろー」と思ってたら、本当に聞こえなかった…。
- ◆心配していたが、リスニングは意外と耳に入ってきた。
- ◆時間が一瞬で50分があったという間。体感時間は30分くらいでした。
- ◆えっ？もう終わり？というくらい、あっという間に時間が過ぎていました。
- ◆いちばん最初で緊張していたから、いちばん悲惨な点数かも…。

- ◆悪い緊張じゃなくていい感じの緊張。いつもより「早く解こう！」と思った。
- ◆最初の科目からこんなんで大丈夫か…と思った。
- ◆問2の(イ)、6文字の単語が思いつかなくて焦った。
- ◆今まであんなに苦手だった並べ替えが3問もできて、うれしい！
- ◆残り5分でまだ問7を解いている自分がいて…。
- ◆英語で焦ってしまい、その後も引きずってしまった。ここで気持ちを切り替えたかったな。
- ◆終了後に、「英語イケたわ〜」と言っている人がいて本当に帰りが楽になる。でもそこから4科目持ち直してホッとした。あきらめないでよかった。
- ◆英語が終わったとき、周りがどよめいていたので「あまり差がつかないな」と思った。なので気持ちを切り替えて国語以降の科目に臨んだ。

10:10  
◎国語◎

**教材研究部の問題分析** 出題形式は昨年と同じでした。問2の空欄補充は基本的な単語ですが、(イ)のbetterは思いつきにくかったかもしれません。問3の(工)は、助動詞と受け身が組み合わされた英文でした。記述問題は、昨年と同じく問5(イ)で自分の考えを述べるものが出されました。問7の読解は、表を確認しながら読まなければならないので、時間がかかったかもしれません。問8(イ)(ウ)は、丁寧に読んで計算もする必要がありました。

- ◆国語くらいから緊張がほぐれてきた。いつも通りなカンジ？
- ◆漢字でわからないのがあった。でも5分余ったから見直してきた！
- ◆キーワードに印をつけながら読んだのがよかった。
- ◆時間内に終わらなくてショッキング！
- ◆訂正が黒板に板書されて、ちゃんと見ないと危険だった。
- ◆英語に続いて文字がたくさんあるように思えて、頭の中がサーっとなって目が回った感じになった。
- ◆今までやってきたことを出し尽くせばOK？な感じだった！
- ◆取り上げられた古文や小説がおもしろく、前向きに取り組めた。
- ◆一つひとつの話が長いので、読むのに時間がかかった。
- ◆「夕焼雲でもほんたうに好きだった」の俳句にじーんときてしまった。

- ◆読解の文章がめっちゃ長くてびっくり。あせって緊張して、体が止まって、心臓だけが動いていた。
- ◆国語楽しかった！俳句甲子園とか初耳です。本、絶対買います。
- ◆けっこう手ごたえがある問題。難しい論説文でしたが「できる！」という気持ちで臨みました。
- ◆論説文がカタカナばかり出てきて混乱してしまいました。アンディディディ…アンディディディ…(←アイデンティティ?)。
- ◆この科目は時間が足りなくなると予想したので、いちばん難しそうな記述は飛ばすことにした。
- ◆試験開始前に「訂正があります」と言われたのに、いざ試験が始まると訂正があるのを忘れてしまい、作文問題を間違えた…。

11:15  
◎数学◎

**教材研究部の問題分析** 構成は例年通り。難易度も大きな変化はなく、平均点も大きな動きはなさそうです。選択肢の設定は全体に易しめでしたが、小説文は場面をイメージしにくい内容であったこと、論説文は文章が長く耳慣れないカタカナ語が多用されていたことから、本文を忍耐強く読んでいく力が要求されました。問三の記述は(注)に出ている語句を使ってまとめるという、今までにない形でした。

- ◆始まる前の解答用紙を見た、例年と傾向が違う問題がありそうで、何だか心に釘が刺さったような気分になった。
- ◆数学の解答用紙にグラフがあったから、間違えて理科の解答用紙が配られたのかと思った(笑)。
- ◆証明と二次関数が難しい。特に二次関数は3問目が無理…。
- ◆マズイマズイ、と思ったら、問題が頭に入らなくなりました。
- ◆がーん。確率の問題の分母、36にしちゃった。
- ◆問5の形式が変わってる。試験の後、ちょっとザワついた。
- ◆最後の証明問題が思うようにいかなかった。したくなくても緊張しちゃってすごく焦って、手がふるえて、とにかくヤバかった。
- ◆問3の(イ)は、X座標で分数が出てきて、困った…。

- ◆問5の電車の問題、ステップの湘南の特色模試でやったような問題で「ありがたい！」と思った。
- ◆深呼吸して考え直しても、分からない問題は分からなかった。
- ◆とにかく最後まで見直しを徹底する。正解だと思っても、どこかしらミスはあるはずだと思っていた。
- ◆自分の体に衝撃が走るのが分かった。一度焦ると取り返しがつかなくなってしまう。一瞬、不合格になった自分の姿がよぎった。
- ◆絶対にとらなければいけない問題は、点数をとるようにならなりました。
- ◆関数の数字は性格悪かったなあ(笑)。
- ◆模試で補助線を引く解き方に触れていたから「ヨッシャ！」と思った。
- ◆解ける問題から解く作戦がうまくいったぞ！

12:20  
◎理科◎

**教材研究部の問題分析** 新傾向として、問5で一次関数の折れ線グラフが出題されました。ただし、昨年までの記述問題に比べると考えやすいものでした。問6の空間図形は例年より解きやすくなっていました。しかし、問3(イ)では点Dの座標が分数のため、直線の式を求めると複雑な計算が必要で、続く(ウ)も難問。そして、問7の証明は補助線が必要など、ひねった問題も出題されました。昨年よりも点数差が開きそうです。

- ◆手応えがあったようで、みんな終わったときうれしそうだった。
- ◆日曜講習で難しい問題をたくさん解いたので、簡単に感じられた。
- ◆ここ1、2年に比べたら超簡単に拍子抜けかも。
- ◆難しいと思って臨んだら少し簡単になっていたの、次の社会に引きずらなかつた。MMノートをやっていた成果が、とても出せた。
- ◆難易度がキモチ下がったのかな？
- ◆「そんなに難しくないんじゃないか」と思ったけど、やっぱり難しかった。
- ◆終わった後はみんな笑顔。だけど簡単だと差がつくので、理科が苦手な私は悲しくなりました。
- ◆もう少し基本的なところを見直しておくべきだったな。
- ◆理科は国語だ！よく読んで読むことが大切だと思って解いた。

- ◆問題のレベルが変化していて、この答えで合っているのか、逆に不安になりながら解いた。難しいのか簡単なのか分からない。
- ◆数学が難しくて泣きそうになって、理科で点数を稼がなきゃって思ったら易しくなって…。みんな点数取れちゃうじゃん。
- ◆ステップのテストの方が1.5倍難しかった。
- ◆簡単になっていたの、根拠のない自信が湧いてきた！
- ◆「あまり難しい」と周りは言っていたが、自分的にはそんなことないと思うんだけど…。
- ◆「思ったより簡単？」と感じていたが、大問に入っていくにつれて焦りが出てくる。でも「社会でとり返してやる」と唱えていたら、答えが閃いた。
- ◆簡単なのが逆に残念！

14:00  
◎社会◎

**教材研究部の問題分析** 昨年と同様に、解く過程で作図を必要とする問題や、複数の実験や観察の結果などをもとに考える複雑な問題が多く出題されました。問6(ウ)(iii)、問7(ウ)、問8(工)は難度が高く、表やグラフ、会話などから情報を読みとる力が必要でした。しかし、前半を中心に基本的な知識で解ける問題が増え、複雑な計算を要する問題も減りました。昨年と比べて平均点は上がりそうです。

- ◆理科が思っていたよりできて、それによって次の社会に勢いがついた！
- ◆年号のオンパレードでけっこう解けた。
- ◆並び替え問題は得意なところばかり出たのがうれしかった。
- ◆今年の入試問題は大塩平八郎の乱の存在が薄かった(笑)。
- ◆地図に書き込む問題は、ステップでやったのとそっくり。本当にこうやって出るんだ…。
- ◆歴史・公民は普通だったが、地理の時間配分でミスったなあ。
- ◆白地図の問題は、普段はよく左側のを右側ので割っていたけど、本番の今回は逆。最初は間違えてしまいました。
- ◆入試前の最後の二日間をひたすら歴史をやっていたので、歴史はすらすら解くことができた。

- ◆記述の文字数が合わない！
- ◆いろいろ解くときに勘違いをしていたんだけど、最終的には、なぜか答えが合っていた。ラッキー～！
- ◆思わぬミスをしてしまい、悔やんでも悔やみきれません。
- ◆STEPの社会暗記集を持っている人がたくさんいました。
- ◆思ったより解きやすかったのは条件作文。
- ◆少し微妙なところもあるけど、記述以外はまあまあできた。
- ◆「国債」の漢字をド忘れ…。
- ◆最後の教科で疲れてきてしまい、記述で答えを書いているときは、手に力がいらなくなっていた。
- ◆最後の社会だけはできたから、楽しい気分です(笑)。

15:05  
◎全体的な感想など◎

**教材研究部の問題分析** 出題形式はほぼ例年通りでしたが、問3の原始～近世の問題は、昨年までのようなカードに写真資料と説明文が載っているものではなく、メモと略地図をもとに各地方や各都市で起きた出来事に関するものになりました。全体の小問数は昨年に比べて2題増えたものの、選択肢は昨年より選びやすいものでした。また、問1の記述問題は直前模試で類似問題を解いていたので、ステップ生には有利だったかもしれません。

- ◆緊張はあまりしなかったけど、疲れた～。
- ◆チャイムの音がステップの音に似ていたのが唯一の救いでした。
- ◆試験監督の先生が邪魔で時計が見えない！
- ◆先生と自己ベストを出すって約束していたから、とにかくがんばった。
- ◆自分の周りはステップの友だちばかり。結局、ステップの模試と変わらないじゃん(笑)！ホーム感が出ていました。
- ◆お弁当箱のふたを開けたら、ご飯の上に大きく「大丈夫」の文字が。それを見て友だちと笑顔になれた。
- ◆休み時間は15分のはずなのに、5分は廊下に出され、開始5分前に物をしまうから、最終的に勉強できた時間は5分だけだった。
- ◆窓から見た景色がきれいで落ち着くことができた。

- ◆終わって安心して、リュックを開けっ放しで帰ったのに気づかなかった。
- ◆ひとりでもニコニコして緊張をほぐしていました。
- ◆「予想通りの予想外」はわかってはいたけれど、いざ本番になってみると…。
- ◆机が狭くて大変だった。シャーペンとか落ちそう。
- ◆暖房が効きすぎてメチャ暑い。寒いことを想定していたのに…。
- ◆帰りの駅は受験生が多すぎて「ここは東京かよ」と思った。
- ◆試験が終わって牛になった気分です。口から「モー」しか出てこないです。
- ◆早く着きすぎて事務室の前で待って、高校の先生方が続々とやってきたので挨拶をした。「おー、がんばれよー！」など声をかけてもらえた！
- ◆周りの人の点数はわからないけど、自分的にはよくできたと思う。3年間のすべてを出し切りました。

